

## 千眼堂吊り橋

朝日山展望台と五合庵を結ぶ千眼堂吊り橋は、平成3年に歩道橋として完成し、多くの観光客が訪れている。

この吊り橋は千眼堂谷に架けられており、千眼堂吊り橋の名称はそこに由来している。千眼堂谷は、国上寺の東南約120mのところにある沢地を指す地名であり、沢の斜面や底からは、国上寺遺跡や香兎山遺跡から投げ込まれたと思われる遺物が採集されており、「古代のゴミ捨て場」であったと推察される。

また、千眼堂谷は昔、千手千眼観音を奉ったお堂があったことに由来していると伝えられている。

この吊り橋の完成により、国上寺、五合庵、朝日山展望台を結ぶ遊歩道ルートが整備された。

平成5年には、「新潟の橋50選」（新潟日報社主催）にも選ばれている。

◇着工	平成2年9月
◇竣工	平成3年3月
◇構造	1) 形式 単径間無補剛吊橋
	2) 橋長 124.0m
	3) 幅員 1.5m
	4) 谷底までの高さ およそ35m
	5) 荷重 活荷重（等分布）
	床組に対して 300kg/m <sup>2</sup>
	主構に対して 200kg/m <sup>2</sup>
	雪荷重
	全構造に対して 150kg/m <sup>2</sup>
6) 床版	木床版
7) 塔形式	鋼製（ロッキンタワー）

